

審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	立川市環境審議会
開催日時	令和３年１０月２９日（金曜日）１４時３０分～１５時４５分
開催場所	立川市役所本庁舎２階２０８・２０９会議室
議題	１．たちかわし環境ブック２０２１について
配布資料	（事前配布） 資料１　　たちかわし環境ブック２０２１（案） （当日配布） 資料２　　令和２年度　低炭素まちづくりの施策評価結果 資料３　　たちかわし環境ブック特集 資料４　　第１２期立川市環境審議会名簿
出席者	〔委員〕 片野　勸、加藤　禮子、山田　廣幸、齋藤　孚彦、甲野　毅、村田　佳壽子、 山下　英俊、中島　孝昌、岡村　優子、富川　泰介、佐藤　達哉、田中　準也 （敬称略） 〔事務局〕 横塚　浩一（環境対策課長）、村上　満生（環境推進係長）、 石原　光胤（温暖化対策係長）、山口　文寿（環境推進係）
公開及び 非公開	公開
傍聴者数	０人
会議結果	１．たちかわし環境ブック２０２１について、委員から意見をいただき、 内容を修正できる部分は、変更を行うこととなった。
担当	環境下水道部環境対策課環境推進係 電話　０４２-５２８-４３４１

第 12 期 第 4 回立川市環境審議会 会議録

開催日時 令和 3 年 10 月 29 日（金曜日） 14 時 30 分～15 時 45 分

開催場所 立川市役所本庁舎 208・209 会議室

出席者〔委員〕片野 勸、加藤 禮子、山田 廣幸、齋藤 孚彦、甲野 毅、
村田 佳壽子、山下 英俊、中島 孝昌、岡村 優子、富川 泰介、
佐藤 達哉、田中 準也（敬称略）
〔事務局〕横塚 浩一（環境対策課長）、村上 満生（環境推進係長）、
石原 光胤（温暖化対策係長）、山口 文寿（環境推進係）

1 たちかわし環境ブック 2021 について

事務局より、たちかわし環境ブック 2021（案）について、構成内容等の説明を行った後、各委員から意見をいただいた。

○委員意見

- ・基本方針の 1 から 4 までに、それぞれまとめがあり、基本方針 3 と 4 は今後の内容も書いてあるが 1 と 2 には記載がない。市で行っている対策の内容を書いた方が良いのでは？行っている対策を市民にアピールしていく場でもあるので P R した方が良い。
⇒検討して、基本方針 1 と 2 について書ける内容は記載する。目標をどう達成していくかについて記載したい。（事務局）
- ・環境ブックを見て、市民からの反響などはあるか？市民にとって役立ったことがあれば、今後載せたらどうか。
⇒毎年環境ブックを継続してもらいに来る人がいる。興味を持っている人はいる。反響等は特に聞いていない。もしあれば載せていく。（事務局）
- ・リサイクルに個人で取り組んでも、その先がどうなっているのか分からない場合もある。事業所の取組内容を見て参考になった、取り入れた内容があったということがあれば、お知らせしていけると良い。良い影響があるはず。
⇒環境ブックは、ホームページでも公開しているので、意見を吸い上げることはできる。（事務局）
- ・気候変動に関する報道が増えているが、国の 2050 年ゼロカーボン目標について、立川市としてどう取り組むのか入れていく必要がある。
- ・基本方針 4 に書いてあるが、時流にそった記載はあるのか？
⇒環境ブックで市の方針を出すものではない。環境基本計画の改定後、国のカーボンニュートラルが出てきたので、次の計画で取り入れていく課題である。（事務局）
- ・立川市の今後の動きはどうなるのか？
⇒国の計画が出ると数値目標の設定がくる。順序として都→市になる。都の動きがはっきりした時点で、市、民間の数値目標を立てる必要があると認識している。（事務局）

- ・環境ブックの43ページに地域の活動に参加している市民の割合のグラフがあるが、市民に協力してもらうことがより必要になってくる。44ページの取組で未実施の項目が多いが、理由と今後どうしていくのかを聞きたい。
⇒環境配慮行動ができる人を増やすのが一番の対策になると認識しているが、正直なところそこまで到達できていない。(事務局)
- ・引き続き、力を入れて取り組んでほしい。
- ・46%削減目標が出たが、立川市の計画はその目標前に策定したものであるので、頑張らないと目標達成は難しい。環境ブックの36ページに立川市全体でのエネルギー消費量が記載されているが、横ばいから増加傾向になっている。市で理由について分析していることがあれば知りたい。
⇒冬場の気温が低かったと記憶している。目標の達成が難しいのは事実。省エネをすすめる必要がある。エコオフィスプランでゴミ減量、省エネを進めている。力を入れてなおして行う必要がある。(事務局)
- ・二酸化炭素排出量を減らすには排出係数の低いエネルギー源に変えると良い。環境ブック39ページの市の施設への再生可能エネルギー導入が進んでいない。PPAなど新たな仕組みもあるので活用して導入すると良い。新規建物への太陽光は都の補助になるが、既設の建物への太陽光導入補助が市として必要になってくるのでは？
⇒市の施設再編計画のなかで太陽光発電を検討している。議会でも助成の話は出ている。区域施策編の目標値が出てくるので、助成を行う必要が出てくる。(事務局)
- ・子どものころにエコ家計簿をつけたことで、環境に関心を持った学生もいる。小学校での状況はどうか？
- ・環境教育は、全学年紐つきで授業がある。社会、理科など授業から多面的に環境につながっていく。
- ・小学校でも脱炭素を具体的に考えていければよい。
- ・熱海で土石流があったが全国に調査は出たのか？立川市内で心配な土地があるのか？調査したら結果を発表してほしい。
⇒立川市内調査済。盛り土で危険なものはない。水害時の危険な場所では、多摩川の崖地（富士見町）が指定されている。避難優先地域。(事務局)
- ・小学校でカリキュラム以外の環境学習に取り組んでいる。子どもにアンケートをするとオール電化の家の子どもの2割くらいいる。家庭の環境も変わっている。家庭も多様化しており、環境ブックに取り組みやすい内容が書かれていると良い。内容が易しいほうが手にとってもらいやすい。
- ・環境ブックの特集は再生可能エネルギーだが、これについて自分では何をすれば良いのか分からない人が多い。電力自由化を知らない学生も多い。電力を選べることも特集に書いてもらえれば良い。
⇒検討する。一般的な話であれば記載可能。(事務局)
- ・25年位前に当時の環境庁から省エネ家電の品名を出したカタログが出て、役に立った。役所で、企業名、品名を出した画期的なものであった。

- ・カーボンニュートラルには、再生可能エネルギーだけでなく省エネという消費者側の視点も重要。省エネ性能カタログは資源エネルギー庁から出ている。エネルギー供給企業には取り組んでいることの情報がよくある。
- ・ごみ減量は、市民も協力して進んでいるが、プラスチックやペットボトルは、透明なビニール袋に入れて出す必要がある。購入しないと出せない。矛盾している部分が出てきている。

環境ブックに企業の取組が出ているが、工業の会社は少ない。あれば取り上げたらどうか？環境に影響が少ない事業所が掲載されている感がある。

⇒前年の掲載会社には依頼しているが、出てこない場合もある。商工会議所とも連携して掲載出来ればよい。

- ・特集の再生可能エネルギーは、カーボンニュートラルに重要だが、他にも方法があることは伝えたほうが良い。供給する側の事業者努力と消費者努力の両方を取り上げる必要がある。
- ・特集のはじめにの部分に追加するとよい。
⇒検討して追加する。(事務局)
- ・電動キックボードの公道での実証実験を立川で行う。昭和記念公園に来る人にお金を立川におとしてもらう工夫でもあり、キックボードシェアリングで環境負荷の少ない交通にも寄与する。
- ・免許が必要で、車道を走る必要があり、いろいろと制約はある。速度は15km。GPSで決められた道を外れると動かなくなるなど工夫されている。サンサンロードは走行不可になる。